

平成30年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年5月1日

上場会社名 マルサンアイ株式会社 上場取引所 名
 コード番号 2551 URL <http://www.marusanai.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)渡辺邦康
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画部長(兼)管理担当 (氏名)堺信好 (TEL) (0564) - 27 - 3700
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第2四半期の連結業績(平成29年9月21日～平成30年3月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第2四半期	13,008	5.8	144	△64.4	108	△81.2	243	△33.3
29年9月期第2四半期	12,292	1.8	406	50.3	575	303.6	364	346.3

(注) 包括利益 30年9月期第2四半期 260百万円 (△24.5%) 29年9月期第2四半期 345百万円 (419.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第2四半期	106 53	—
29年9月期第2四半期	159 22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第2四半期	22,519	4,326	19.1
29年9月期	23,944	4,203	17.5

(参考) 自己資本 30年9月期第2四半期 4,306百万円 29年9月期 4,185百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	60.00	60.00
30年9月期	—	0.00	—	—	—
30年9月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年9月21日～平成30年9月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	25,769	1.7	460	△35.2	444	△51.8	733	77.4	319	32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年9月期2Q	2,296,176株	29年9月期	2,296,176株
30年9月期2Q	14,668株	29年9月期	14,621株
30年9月期2Q	2,281,542株	29年9月期2Q	2,288,615株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年9月21日～平成30年3月20日）におけるわが国経済は、政府や日銀の各種政策を背景とした企業収益の回復や雇用環境の改善がみられ、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、国際情勢におきましては、米国の経済政策の動向や地政学リスクの高まりなど、先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、依然として消費者の節約志向が根強い中、企業間の価格競争の激化や製造変動費の増加など、引き続き厳しい状況が続いております。

みそ業界におきましては、海外への輸出や業務用の出荷が堅調に推移し、近年は出荷量の下げ止まりがみられるものの、国内での生みその需要減退が課題となっております。

豆乳業界におきましては、健康志向の高まりを背景として、料理などへの汎用性の高い無調整豆乳を中心に、堅調に推移しております。

このような環境の中で、当社グループは「健康で明るい生活へのお手伝い」を企業理念とし、安全で安心できる製品の供給に努めるとともに、原価高騰に対して、事業の効率化やコスト削減等の利益向上対策に努め、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は、豆乳が好調に推移したため130億8百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益は、運賃、水道光熱費並びに子会社であるマルサンアイ鳥取株式会社の減価償却費及び消耗品費等の製造原価の増加により1億44百万円（前年同期比64.4%減）、経常利益は、円高によるデリバティブ評価損を計上したため1億8百万円（前年同期比81.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、マルサンアイ鳥取株式会社に対する補助金収入3億12百万円があったものの、経常利益が減少したため2億43百万円（前年同期比33.3%減）となりました。

なお、持分法適用関連会社のアメリカン・ソイ・プロダクツ INC. 及び海寧市裕豊醸造有限公司につきましては、持分法による投資利益22百万円を営業外収益に計上しております。

① みそ事業

生みそ及び即席みそが堅調に推移したほか、平成29年9月に発売した液状みその売上が寄与し、売上高は、25億47百万円（前年同期比6.2%増）となりました。

a. 生みそ

販売単価がやや下落したものの、メディアで赤だしが特集された影響もあり出荷数量が前年を上回ったため、売上高は、20億53百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

b. 調理みそ

主力製品である「酢みそ」、「からし酢みそ」等の売上が減少したため、売上高は、1億77百万円（前年同期比5.4%減）となりました。

c. 即席みそ

多食タイプ製品、特に「懐石仕立本場赤だし6食」が堅調に推移したため、売上高は、2億33百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

d. 液状みそ

平成29年9月に発売した鮮度みそ「香りつづくとろける味噌」シリーズの販売促進に努めたため、売上高は、83百万円となりました。

② 豆乳飲料事業

豆乳が好調に推移したため、売上高は、91億5百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

a. 豆乳

無調整豆乳、海外向け製品及び200mlタイプの製品が好調に推移し、売上高は、79億34百万円（前年同期比10.3%増）となりました。

b. 飲料

「あまざけ」が好調に推移したものの、受託製造品が減少したため、売上高は、11億70百万円（前年同期比14.8%減）となりました。

なお、平成29年11月20日をもって、ブルーダイヤモンドグローブズ社との間で締結しておりました、アーモンド飲料「アーモンドブリーズ」の製造販売に関するライセンス契約を解除しております。

③ その他食品事業

商品統制により「甘酒」の売上が減少した一方、「豆乳グルト」や水煮大豆の売上が堅調に推移したため、売上高は、13億47百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

④ 技術指導料その他

技術指導料及び受取ロイヤリティーとして、売上高8百万円（前年同期比2.1%減）を計上いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、90億円となり、前連結会計年度末に比べ13億59百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、受取手形及び売掛金の減少4億87百万円、子会社であるマルサンアイ鳥取株式会社の工場建設に伴う未収消費税等の減少4億42百万円、現金及び預金の減少1億93百万円、仕掛品の減少69百万円等によるものであります。

固定資産は、135億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ65百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、マルサンアイ鳥取株式会社の設備増設等に係る建設仮勘定の増加4億70百万円等があったものの、機械装置及び運搬具の減少3億64百万円、建物及び構築物の減少1億35百万円等によるものであります。

この結果、資産合計は、225億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億25百万円減少いたしました。

② 負債

流動負債は、114億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ51億31百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、短期借入金の減少17億60百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少15億73百万円、支払手形及び買掛金の減少8億27百万円、未払金の減少6億63百万円等によるものであります。

固定負債は、67億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億82百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、長期借入金の増加35億46百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、181億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億48百万円減少いたしました。

③ 純資産

純資産合計は、43億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億23百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、利益剰余金の増加1億6百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年9月期の連結業績予想につきましては、平成29年11月2日に公表いたしました連結業績予想に記載された内容から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,693,922	2,500,240
受取手形及び売掛金	3,979,467	3,491,970
商品及び製品	790,892	742,897
仕掛品	530,752	460,918
原材料及び貯蔵品	546,209	517,160
その他	1,820,872	1,288,465
貸倒引当金	△1,595	△693
流動資産合計	10,360,521	9,000,958
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,393,607	5,258,297
機械装置及び運搬具(純額)	3,813,440	3,449,277
土地	3,004,916	3,004,916
その他(純額)	261,463	701,784
有形固定資産合計	12,473,428	12,414,276
無形固定資産	251,922	227,651
投資その他の資産		
投資有価証券	592,202	607,563
その他	277,457	279,998
貸倒引当金	△10,914	△10,914
投資その他の資産合計	858,746	876,647
固定資産合計	13,584,097	13,518,576
資産合計	23,944,618	22,519,534

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,593,905	2,766,028
短期借入金	5,650,000	3,890,000
1年内返済予定の長期借入金	2,507,645	934,142
未払法人税等	393,038	176,613
賞与引当金	372,369	352,011
未払金	3,684,724	3,021,484
その他	362,512	292,606
流動負債合計	16,564,196	11,432,887
固定負債		
長期借入金	1,591,184	5,137,367
退職給付に係る負債	1,209,240	1,223,332
資産除去債務	221,540	223,268
その他	155,401	176,266
固定負債合計	3,177,367	6,760,233
負債合計	19,741,564	18,193,120
純資産の部		
株主資本		
資本金	865,444	865,444
資本剰余金	629,828	629,828
利益剰余金	2,634,654	2,740,814
自己株式	△41,018	△41,201
株主資本合計	4,088,909	4,194,885
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,249	41,747
為替換算調整勘定	△22,592	△8,188
退職給付に係る調整累計額	87,209	78,513
その他の包括利益累計額合計	96,867	112,071
非支配株主持分	17,277	19,456
純資産合計	4,203,054	4,326,414
負債純資産合計	23,944,618	22,519,534

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月21日 至平成29年3月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月21日 至平成30年3月20日)
売上高	12,292,979	13,008,334
売上原価	8,815,515	9,643,195
売上総利益	3,477,463	3,365,138
販売費及び一般管理費	3,071,033	3,220,641
営業利益	406,430	144,497
営業外収益		
受取利息	2,322	2,849
不動産賃貸収入	7,908	7,868
持分法による投資利益	21,153	22,248
デリバティブ評価益	148,007	—
その他	19,531	7,921
営業外収益合計	198,922	40,886
営業外費用		
支払利息	13,916	16,066
シンジケートローン手数料	6,713	6,128
債権売却損	7,037	7,037
デリバティブ評価損	—	41,480
その他	1,890	6,255
営業外費用合計	29,558	76,968
経常利益	575,794	108,415
特別利益		
補助金収入	—	312,000
固定資産売却益	149	288
特別利益合計	149	312,288
特別損失		
固定資産除却損	6,310	2,079
投資有価証券評価損	—	15,332
特別損失合計	6,310	17,412
税金等調整前四半期純利益	569,634	403,291
法人税等	202,903	158,094
四半期純利益	366,730	245,196
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,332	2,144
親会社株主に帰属する四半期純利益	364,397	243,052

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月21日 至平成29年3月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月21日 至平成30年3月20日)
四半期純利益	366,730	245,196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,477	9,532
為替換算調整勘定	10,791	10,027
退職給付に係る調整額	△8,129	△8,696
持分法適用会社に対する持分相当額	△28,781	4,376
その他の包括利益合計	△21,642	15,239
四半期包括利益	345,088	260,436
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	341,241	258,256
非支配株主に係る四半期包括利益	3,846	2,179

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月21日 至平成29年3月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月21日 至平成30年3月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	569,634	403,291
減価償却費	332,245	651,542
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,217	△902
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,650	△20,357
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△44,349	5,395
受取利息及び受取配当金	△4,274	△3,854
補助金収入	—	△312,000
持分法による投資損益(△は益)	△21,153	△22,248
支払利息	13,916	16,066
シンジケートローン手数料	6,713	6,128
為替差損益(△は益)	△2,238	5,242
デリバティブ評価損益(△は益)	△131,107	59,997
固定資産除却損	2,085	320
売上債権の増減額(△は増加)	197,479	487,881
たな卸資産の増減額(△は増加)	188,858	146,787
仕入債務の増減額(△は減少)	△600,687	△828,664
投資有価証券評価損益(△は益)	—	15,332
未収入金の増減額(△は増加)	91,777	177,301
未払金の増減額(△は減少)	13,484	△261,446
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	442,315
その他	△34,751	△106,726
小計	585,067	861,403
利息及び配当金の受取額	15,432	14,290
利息の支払額	△15,370	△15,978
補助金の受取額	—	312,000
法人税等の支払額	△126,328	△355,185
法人税等の還付額	2	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	458,803	816,530
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,941,813	△1,053,075
投資有価証券の取得による支出	△5,984	△5,837
その他	50,407	△22,468
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,897,389	△1,081,381
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,100,000	△1,760,000
長期借入れによる収入	1,100,000	3,790,000
長期借入金の返済による支出	△619,115	△1,817,320
シンジケートローン手数料支出	△7,434	△7,318
配当金の支払額	△68,841	△136,893
その他	△64,608	△21,130
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,439,999	47,337
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,119	△358
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,532	△217,872
現金及び現金同等物の期首残高	1,967,485	2,602,036
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,973,018	2,384,164

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年9月21日 至 平成29年3月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年12月15日 定時株主総会	普通株式	68,841	30.00	平成28年9月20日	平成28年12月16日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成28年12月19日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される
同法第156条の規定に基づき自己株式を取得することを決議し、自己株式立会外買付取引(N-NET3)により、自己
株式13,000株の取得を行いました。

この結果、自己株式は単元未満株式の買取りと併せ、当第2四半期連結累計期間において36,875千円増加し、当
第2四半期連結会計期間末において自己株式が40,548千円となっています。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年9月21日 至 平成30年3月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年12月14日 定時株主総会	普通株式	136,893	60.00	平成29年9月20日	平成29年12月15日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益
に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年9月21日 至 平成29年3月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,397,696	8,566,075	1,320,869	12,284,641	8,338	12,292,979
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,397,696	8,566,075	1,320,869	12,284,641	8,338	12,292,979
セグメント利益	363,108	1,870,584	130,512	2,364,205	8,338	2,372,543

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術指導料及び受取ロイヤリティーを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,364,205
「その他」の区分の利益	8,338
全社費用(注)	△1,966,113
四半期連結損益計算書の営業利益	406,430

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年9月21日 至 平成30年3月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,547,387	9,105,090	1,347,692	13,000,169	8,164	13,008,334
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,547,387	9,105,090	1,347,692	13,000,169	8,164	13,008,334
セグメント利益	252,136	1,720,031	160,730	2,132,897	8,164	2,141,062

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術指導料及び受取ロイヤリティーを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,132,897
「その他」の区分の利益	8,164
全社費用(注)	△1,996,564
四半期連結損益計算書の営業利益	144,497

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

平成 30 年 9 月期第 2 四半期決算発表（連結）【参考資料】

マルサンアイ株式会社

(コード番号 2551 名証二部)

1. 業績の推移

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	平成 29 年 9 月期 第 2 四半期(累計)		平成 30 年 9 月期 第 2 四半期(累計)		平成 29 年 9 月期		平成 30 年 9 月期 (予想)	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売上高	12,292	1.8	13,008	5.8	25,345	4.6	25,769	1.7
営業利益	406	50.3	144	△64.4	710	△5.2	460	△35.2
経常利益	575	303.6	108	△81.2	922	73.5	444	△51.8
四半期(当期)純利益	364	346.3	243	△33.3	413	31.3	733	77.4

2. セグメント別売上高の推移

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	平成 29 年 9 月期 第 2 四半期(累計)		平成 30 年 9 月期 第 2 四半期(累計)		平成 29 年 9 月期		平成 30 年 9 月期 (予想)	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
生みそ	1,991	△1.3	2,053	3.1	3,738	△1.0	3,855	3.1
調理みそ	187	△4.3	177	△5.4	396	△1.7	331	△16.6
即席みそ	219	0.2	233	6.3	416	2.2	373	△10.3
液状みそ	—	—	83	—	43	—	188	335.0
みそ事業計	2,397	△1.4	2,547	6.2	4,594	0.2	4,748	3.3
豆乳	7,192	2.9	7,934	10.3	15,577	7.2	16,655	6.9
飲料	1,373	△8.8	1,170	△14.8	3,082	△7.3	2,415	△21.6
豆乳飲料事業計	8,566	0.8	9,105	6.3	18,659	4.5	19,070	2.2
その他食品事業	1,320	15.9	1,347	2.0	2,073	17.3	1,930	△6.9
技術指導料その他	8	△20.2	8	△2.1	17	△28.7	18	3.1
合計	12,292	1.8	13,008	5.8	25,345	4.6	25,769	1.7

3. 財政状態の推移

	平成 29 年 9 月期	平成 30 年 9 月期 第 2 四半期	平成 30 年 9 月期(予想)
総資産	23,944	22,519	23,004
純資産	4,203	4,326	4,771
自己資本比率	17.5%	19.1%	20.7%
1株当たり純資産	1,834円62銭	1,887円77銭	2,070円02銭

4. キャッシュ・フローの推移

	平成 29 年 9 月期	平成 30 年 9 月期 第 2 四半期	平成 30 年 9 月期(予想)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,348	816	2,173
投資活動による キャッシュ・フロー	△4,683	△1,081	△754
財務活動による キャッシュ・フロー	3,965	47	△1,459
現金及び現金同等物 期末残高	2,602	2,384	2,562

5. 配当の状況

	平成 28 年 9 月期	平成 29 年 9 月期	平成 30 年 9 月期(予想)
1株当たり配当額	30.0円	60.0円	30.0円
配当性向	21.9%	33.2%	9.4%

6. 設備投資額及び減価償却費の推移

	平成 28 年 9 月期	平成 29 年 9 月期	平成 30 年 9 月期(予想)
設備投資額	2,255	5,108	725
減価償却費	670	867	1,368

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。